

いちのみやの芸術文化



- 特集 「岐阜街道とその周辺」
- 加入団体の紹介
- 「一宮市芸術祭」のご案内
- これからの催し
- 文化講演会「秋山仁」

岐阜街道と酒見神社部分

2012.9

第22号

一宮市芸術文化協会

ICHINOMIYA Arts and Culture Association

一宮市には、一宮市博物館・一宮市三岸節子記念美術館・一宮市尾西歴史民俗資料館・木曾川資料館など先人の残した文化を紹介する施設があります。私たちの「身近な文化」を学んでみませんか？

岐阜街道とその周辺 酒見神社

岐阜街道は、四ツ谷追分（稲沢市井之口）から岐阜城下へ延びる街道です。長良川で獲れた鮎を鮎にし、江戸の將軍家へ献上される鮎が通る道でもあることから、別名「鮎鮎街道」や「御鮎街道」とも呼ばれていました。

現在、岐阜街道と呼ばれるのは、県道一九〇号名古屋一宮線を指しています。さて前回（第十八号、二〇一一年九月）では岐阜街道の一宮一里塚について、博物館所蔵の明治時代の歴史的資料から紹介しました。今回は、その続編として、岐阜街道沿いに鎮座する酒見神社について紹介します。

酒見神社

市域における岐阜街道は多加木二丁目と稲沢市赤池居道町の境から始まり、木曾川左岸川原屋敷で終点となります。

真清田神社から音羽三丁目の交差点を北へ進むと、左側に酒見神社が見えてきます。



▲手前が県道190号線（旧国道22号線）、左奥の細い道がかつての岐阜街道（酒見神社東側鳥居付近から南を望む）

その手前、酒見神社東側の鳥居付近でY字路になり、東側の細い道がかつての岐阜街道です。

酒見神社は、天野信景が著した『本國神名帳集説』（宝永四・一七〇七年）によると「從



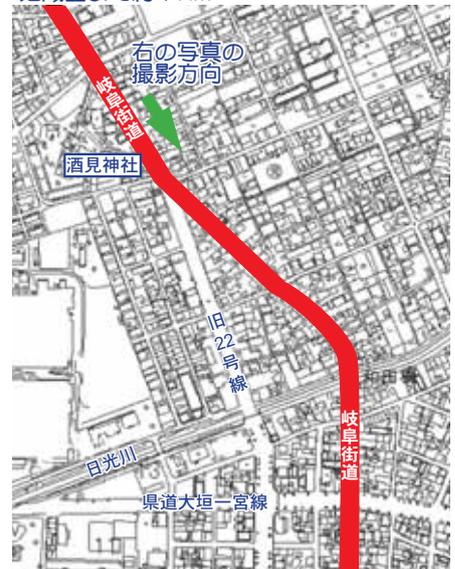
▶「酒見神社」（『尾張名所図会』後編卷之二）馬を引いて往来している道が岐阜街道

一位酒見名神(サカミノ)とあり、また酒見とは「酒彌豆(サカミヅ)の略語とあります。同書の頭注部分には「神鳳抄(しんほうしょう)を引用し、神鳳抄云酒見御厨造酒司酒弥豆男神酒弥豆女神」と、この地域が酒見御厨と呼ばれる伊勢神宮の神領で、神宮への供物「酒」を酒弥豆男神と酒弥豆女神によって醸造され、この二柱が造酒司(みきのつかさ)でありました。このことから、酒見神社は清酒醸造の神社として崇敬されています。

さて、少し幕末の酒見神社の様相を、「感興漫筆(きんこうまんびつ) 卷廿八(名古屋叢書)」でみてみましょう。この書では細野要齋(ほそのようさい)が、文久元年(一八六一)五月七日に酒見神社に詣でた際の様子を記しています。

此祠、一之宮村より美濃に至るの街道より入りて北面にあり：是、垂仁天皇十三年、皇太神遷幸御留の間、酒を醸して獻りし地なりと云。其時の酒瓶二、祠後にありて地に入たり。上に板屋を襲へり。祠前の左傍、酒船と称する石あり、瘡を患ふる者、これを削りて服すれば忽ち癒ゆと云、もと石にはあらざる歟 祠の大門と称するは北方にあり、故に俗に北大門明神社と呼ぶと云。：祠右に祠人伊藤市正が宅あり、入て

地蔵堂まで約1 Km



少憩し、對話す。乃ち請て籬内に入て酒瓶を拝観す。木根に摧れ多く破れたなり。其内西なるは猶形象見るべし、東なるは破壊甚し。市正日、余が職を継し頃は瓶の形儼然たりしが、年を経て木根破口に入り、形次第に崩れ落たり。瓶外面には筋ありといふ。今は埋れて見へず。：(瓶の色は赤黒く見ゆ)



「岩船」



(一宮市博物館学芸員 石黒智教)

当時、細野が見た酒見神社は、『尾張名所図会』後編卷之一に描かれている「酒見神社」その姿といえます。今では、酒瓶を見ることができませんが、「岩船(いわふね) (酒槽石)の位置は当時と変わっていません。さて酒見神社を出て、岐阜街道へ戻り北へ進むと、左側に尾張六地蔵の第一番彼岸(ひびん) 繩手地蔵(なわてじぞう)を祀る地蔵堂があります。この地蔵は、由緒書によると、元黒田村(げんこうし) 剣光寺(けんこうじ)にあった本尊で、南北朝期に剣光寺が兵火によって廃寺となり、その地蔵を永禄三年(一五六〇)にこの地に祀り再建したと伝えられています。

何気なく過ぎていく日常生活の中で、岐阜街道沿いを時にはゆっくりと散策すると、普段見えてこないものが見えてくるかも知れません。また「感興漫筆」などの日記形式の随筆や『尾張名所図会』を片手に、江戸末期と今日とを比較することによってその変化を感じることが出来ます。

能楽は、ユネスコの無形文化遺産に指定され、日本や中国の古典文学、古事に登場する人物、精霊の物語を演じます。私達は物語を『謡』^{うたい}と言い、また演じられる舞の一部を『仕舞』^{しまい}と言います。稽古には、謡曲の詞章、節付^{ふしつけ}を記した謡本^{うたいほん}を使います。この謡本は平安時代の古い言葉で書かれているので難しい様に聞こえますがそんなことはなく、どなたでも謡うことができます。

源平の合戦の有様や源氏物語の葵上、夕顔等、恋や嫉妬が美しい言葉で語られる謡は大変楽しく、また力一杯大きな声を腹から出すことで健康にも大変良く、年齢に関係なく生涯楽しむことができます。

春と秋に開催される謡曲大会には、一宮謡曲同好会として参加しています。他にも、毎年、名古屋能楽堂（清韻会）への出演や伊勢神宮への奉納を行ったり、犬山城や岡崎城でも出演し

第21回目になるクラブ発表会が毎年9月にアイブラザー宮で行われており、第1回より参加して日頃の成果を発表しています。

多くの人と接し、謡曲に触れ合うことで元気を得て、何歳になっても活動出来ることを目標に頑張っています。稽古は丹陽公民館で毎週土曜日の午後7時より行っています。一度お気軽に見に来てください。



◀ 謡曲大会にて

【問合せ先】加藤 新一郎 ☎73-1453

若芽会は、平成3年に旧尾西文化協会に13名で歌謡団体として登録し、尾西芸能祭に参加させていただくようになりました。以来20年余りにわたって毎年参加し、出場した方々もそれぞれに楽しい思い出ができたと思っています。

発表の舞台は、出場前の緊張感や出場後の達成感という、普段では味わうことができない醍醐味を経験することができる場であり、それを体験することによって、更に楽しく一生懸命に活動する意欲が沸いてきます。また、歌謡をとおして心身共に健康づくりもできればと考えています。他にも、歌謡グループが集まり、尾西グリーンプラザで開催されている発表会にも参加しています。そこでは多くの方々のパフォーマンスを見ることができ、楽しみながら自分のレベルアップのため、勉強もさせていただいています。

月2回ほど色々な仲間の歌声を聞き、自分も

歌い、勉強しています。時には、プロ歌手の舞台を見てそれを自分の肌で感じ、楽しんできたりもします。

これからも来てくださる方々に、楽しんでいただけるような発表を心掛けて、活動していきたいと思っています。参加いただける方が増えることを願いお待ちしております。



◀ 尾西芸能祭にて

【問合せ先】小川 進 ☎62-7637

加入団体の紹介

山ぶどうの会(やまぶどうのかい)

(洋画部門)

山ぶどうの会は、一宮市主催の水彩画教室の卒業生による自主活動グループとして十数年前に発足しました。毎月第2、第4木曜日の午前9時半から2時間、講師の高山悟先生（光風会会員）にご指導いただき、一宮スポーツ文化センターで活動しています。

40代から80代と幅広い年代の仲間と、静物、人物、風景などの具象画だけではなく、心の中の思いの抽象画も描きます。描いた作品は、どれも描き手の性格がしっかり出て、大変面白いものが出来上がります。

発表の場として、一宮スポーツ文化センターにおいて展覧会を開催しており、今年も10月11日(木)から14日(日)を予定しております。その他にも、春と秋の日帰りスケッチや夏期の親睦会、12月の忘年会なども行っています。

絵を描くことは、ボケ防止のための脳のトレーニングになり、スケッチに出かけることは、適度

な運動になり健康に役立ちます。また、絵を描いている間は無我夢中になることができ、時には悩むこともあります。大切な仲間と一緒に考え、喜び合うことで幸せな時間を共有することができます。

そんな時間を過ごすことができる仲間達は、皆、幸せな家族のようです。ぜひ一度見学に来てください。お待ちしております。



◀ 教室風景

【問合せ先】吉川 忠史 ☎45-2787

加入団体の紹介

尾西作家協会(びさいさっかきょうかい)

(日本画部門)

尾西作家協会は今年で設立10年目を迎える美術の団体です。平成10年11月、旧尾西市に三岸節子記念美術館が開館したことに伴い、美術愛好家の市民も段々と多くなってきました。そこで美術館を拠点にした地元作家の作品展を目的に、また、それぞれ中央展に所属している作家同士の交流も出来るということで、尾西作家協会の設立にいたしました。以降、毎年9月を中心に、三岸節子記念美術館で尾西作家協会展という作品展を開催してきました。

展覧会も軌道に乗り始め、第5回尾西作家協会展から、中日新聞社会事業団のご協力を得てチャリティー展を併設しました。チャリティーを通じて地元作家の作品を身近に感じていただくことにより、美術に対する親近感も増し、時には来てくださった方々と、作品の話で大変盛り上がります。また皆様からチャリティーによせられたご厚意を、毎年、恵まれない子ども

達に僅かですがお送りしています。

会の仲間は、それぞれの活動もあり年1回の作品展も大変なことですが、皆、プロ意識を持って、この地方から世界に発信すべく頑張っています。今年も10回目になります尾西作家協会展を9月25日(火)から30日(日)まで、三岸節子記念美術館において開催します。ぜひお越しください。



◀ 尾西作家協会展

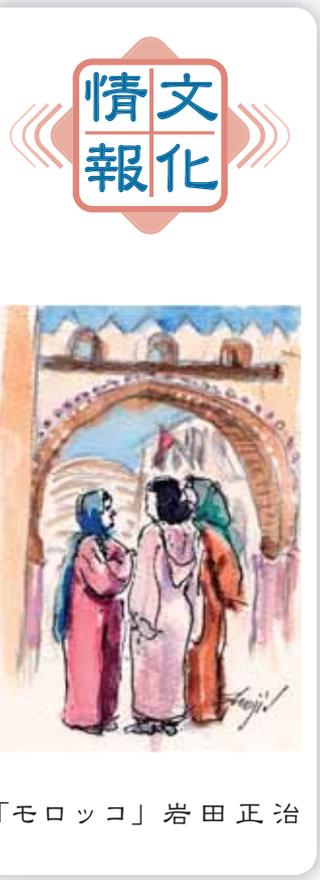
【問合せ先】河出 幸之助 ☎62-3446

第67回 一宮市芸術祭

今年の「一宮市芸術祭」は次のおり開催されます。ぜひお出掛けください。

行事	期 日	時 間	開催場所	入 場 料 参加料等	団 体
2012 一宮美術作家協会展	9月1日(土) ～17日(祝)	AM9:30～ PM5:00	一宮市博物館	博物館常設展 観覧料200円	一宮美術作家協会
三 美 会 展	9月4日(火) ～9日(日)	AM9:00～PM5:00 (4日はPM1:00～、 9日はPM4:00まで)	三岸節子記念 美 術 館	入場無料	グループ絵ごころ三美会
楽しく描こう会 水彩画展	9月11日(火) ～16日(日)	AM9:00～PM5:00 (16日はPM3:30まで)	尾西歴史民俗 資 料 館		楽しく描こう会
第9回尾西展	9月15日(土) ～21日(金)	AM9:00～PM5:00 (21日はPM4:30まで)	三岸節子記念 美 術 館		尾西美術連合
一宮写真協会展	9月20日(木) ～30日(日)	AM10:00～ PM5:00	一宮市博物館	博物館常設展 観覧料200円	一宮写真協会
第48回麗筆会展	9月21日(金) ～23日(日)	AM10:00～PM5:00 (23日はPM4:00まで)	一宮スポーツ 文化センター	入場無料	麗 筆 会
尾西面打会 作品展	9月22日(祝) ～23日(日)	AM9:00～PM5:00 (22日はAM10:00～、 23日はPM4:00まで)	三岸節子記念 美 術 館		尾西面打会
第2回 雅楽フェスティバル	9月23日(日)	PM1:30～ PM3:30	一宮市民会館		旭 雅 楽 会
第10回 尾西作家協会展	9月25日(火) ～30日(日)	AM9:00～PM5:00 (25日はPM0:00～、 30日はPM4:00まで)	三岸節子記念 美 術 館		尾西作家協会
第14回 桃 墨 会 展					桃 墨 会
第23回 手つむぎ・染め・織り展	9月26日(水) ～30日(日)	AM10:00～PM6:00 (30日はPM4:00まで)	玉 堂 記 念 木曾川図書館	尾張もめん伝承会	
市 民 茶 会	9月30日(日)	AM10:00～ PM3:00	真清田神社	1,500円	一宮茶道協会
水彩画発表会	10月2日(火) ～7日(日)	AM9:00～PM5:00 (7日はPM3:00まで)	尾西歴史民俗 資 料 館	入場無料	タ ン ポ ポ の 会
山ぶどうの会展	10月11日(木) ～14日(日)	AM9:30～PM5:00 (14日はPM4:00まで)	一宮スポーツ 文化センター		山ぶどうの会
土筆の会展					土 筆 の 会
花畑スケッチブック展	10月11日(木) ～19日(金) (土曜・日曜を除く)	AM8:30～PM4:30 (11日はAM11:00～、 19日はPM4:00まで)	ふれあいセンター た く み		花 畑
狂 俳 大 会	10月13日(土)	PM1:00～ PM4:00	葉栗公民館		一宮狂俳壇連盟
尾西俳句大会	10月14日(日)	AM10:30～ PM4:30	尾西生涯 学習センター	800円	尾西俳句会
尾西ウィンドオーケストラ 第72回定期演奏会		PM2:00～ PM4:00	尾西市民会館	一般1,000円 中学生以下無料	尾西ウィンドオーケストラ
いちのみや文芸2012 発 刊	10月20日(土)	1冊 800円 随想・随筆、現代詩、漢詩、短歌、俳句、川柳、狂俳の市民文芸集			
文 化 講 演 会		PM1:00～ PM2:30	尾西市民会館	入場無料 (要入場整理券)	講師：秋山 仁さん (数学者)

行事	期日	時間	開催場所	入場料 参加料等	団体
一宮シティー室内管弦楽団 第19回定期演奏会	10月21日(日)	PM2:00～ PM4:00	尾西市民会館	1,000円	一宮シティー室内管弦楽団
いぶき水彩画展	10月23日(火) ～28日(日)	AM9:00～PM5:00 (28日はPM3:30まで)	尾西歴史民俗 資料館		いぶき
秋季謡曲大会	10月28日(日)	AM9:30～ PM4:30	産業体育館	入場無料	一宮謡曲同好会
一宮吟剣詩舞道大会					一宮吟剣詩舞協会
俳句大会	11月3日(祝)	AM11:00～ PM4:30	一宮スポーツ 文化センター	800円	一宮俳句協会
一宮現代詩祭		PM1:00～ PM4:00		500円	一宮現代詩協会
一宮市民華道展		11月3日(祝) ～4日(日)		AM10:00～PM4:00 (4日はPM3:45まで)	入場無料
第60回 合同舞踊公演	11月4日(日)	AM11:30～ PM3:30	一宮市民会館	1,000円	一宮舞踊協会
短歌大会	11月11日(日)	PM1:00～ PM4:30	一宮スポーツ 文化センター	500円	真清短歌会
第40回一宮音楽家協会 記念演奏会		PM2:00～ PM4:30	尾西市民会館	入場無料 (要入場整理券)	一宮音楽家協会
第6回 パレット水彩画展	11月13日(火) ～18日(日)	AM9:00～PM4:30 (13日はPM0:00～、 18日はPM3:30まで)	尾西歴史民俗 資料館		パレット会
尾西芸能祭	11月17日(土) ～18日(日)	PM0:00～ PM4:00	尾西市民会館	入場無料	尾西芸能祭実行委員会
尾西華道展・お茶会		AM10:00～PM4:00 (お茶会はPM3:00まで)			尾西華道展・お茶会 実行委員会
一宮茶道連盟茶会	11月18日(日)	AM9:00～ PM3:00	妙興寺	8,000円	一宮茶道連盟
ガリバンバン水彩画 10周年展	11月21日(水) ～26日(月)	AM10:00～PM5:00 (26日はPM4:00まで)	ギャラリー るぼ		尾西ガリバンバンの会
一宮三曲協会 定期演奏会	11月23日(祝)	AM11:00～ PM4:30			一宮三曲協会
第58回中部日本書道会 一宮支部展	11月24日(土) ～25日(日)	AM10:00～PM4:00 (24日はPM1:00から)	一宮スポーツ 文化センター	入場無料	(公)中部日本書道会 一宮支部
第41回一宮支部 学生書道展					
曾山流樹徳吟詠会 山瑩会錬成会	11月25日(日)	AM9:45～ PM4:00	尾西商工会館		山瑩会
水絵の会展	12月4日(火) ～9日(日)	AM9:00～PM5:00 (4日はPM1:00～、 9日はPM4:00まで)	三岸節子記念 美術館		水絵の会
一宮市民吹奏楽団 第37回定期演奏会	12月9日(日)	PM1:30～ PM3:30	一宮市民会館	前売400円 当日500円	一宮市民吹奏楽団
第36回 一宮合唱祭	12月16日(日)	PM0:30～ PM4:30	尾西市民会館	入場無料	一宮合唱協会



「モロッコ」岩田正治

《市および市内公共施設の催し》

一宮市博物館
☎(46)3215

「一宮写真協会展」

日時 ● 9月20日(木)～30日(日)
午前9時30分～午後5時
(入館は午後4時30分まで、
月曜休館。以下同じ。)
内容 ● 感性に裏打ちされた表現力
で、熱い思いを込めた写真
作品を展示します。
観覧料 ● 一般 200円
 ● 高校生 100円
 ● 小中生 50円
※市内小中生・65歳以上無料

特別展「一宮の歴史と文化」

日時 ● 10月13日(土)～11月18日(日)
午前9時30分～午後5時
内容 ● 江戸時代の一宮の人々がど
のように暮らし、祈り、文
化を育んできたかを、歴史
資料を中心に紹介します。

観覧料 ● 一般 300円
 ● 高校生 200円
 ● 小中生 100円
※市内小中生・65歳以上無料

市民文化財めぐり

日時 ● 11月4日(日)
午前9時～午後3時30分
内容 ● 市内にある文化財のうちい
くつかを、文化財保護審議
会委員の解説により観覧し
ます。

対象 ● 市内在住・在勤の方。
※詳しくは10月広報を参照

講座「尾張平野を語る17」

日時 ● ①11月10日(土)
午前9時30分～午後4時15
分
 ● ②11月11日(日)
午後1時30分～午後4時30
分
内容 ● ①一宮を語る
 ● 最新の研究成果から
 ● 歴史を次世代につなぐ
 ● 一宮市史から博物館へ
※詳しくは10月広報を参照

企画展「2012一宮市現代作家
美術秀選展」

日時 ● 12月1日(土)～16日(日)
午前9時30分～午後5時
内容 ● 第70回一宮市美術展市長賞
受賞者、依頼出品者、各協
会推薦者の作品を展示。
観覧料 ● 一般 200円
 ● 高校生 100円
 ● 小中生 50円
※市内小中生・65歳以上無料

三岸節子記念美術館
☎(63)2892

特別展「生誕100年記念 丸木俊展」
日時 ● 10月6日(土)～11月25日(日)

午前9時～午後5時
(入館は午後4時30分まで、
月曜休館、月曜日が休日の
場合は翌日休館。)

内容 ● 戦前のパラオやモスクワで
描かれた作品や原爆の図、
楽しい絵本の原画などを通
し、類まれな女性洋画家の
生涯と画業を紹介します。

観覧料 ● 一般 600円
 ● 高校生 300円
 ● 小中生 150円
※市内小中生・65歳以上無料

「丸木俊展」関連事業
美術館講演会

日時 ● 11月3日(土)午後2時～
講師 ● 小沢節子氏(近現代史研究
家)
内容 ● 『丸木俊・旅する「物語の
画家」―絵本から原爆まで
―』

会場 ● 美術館1階講義室
定員 ● 100名※聴講無料

ミュージアム・コンサート

日時 ● 11月17日(土)
午後5時30分～開演
※開場は開演30分前
内容 ● 「富田牧子 無伴奏チェロ
の夕べ〜大地のことば〜」

定員 100名

入場料 10月6日より美術館受付にて販売。一般1、000円 高生500円 小中生250円(特別展・常設展の観覧料含む)

ギャラリートーク

日時 10月20日(土)・11月17日(土) 午後2時〜

内容 担当学芸員が特別展「丸木俊展」の見どころを解説します。

※要特別展観覧料・定刻に美術館2階ロビーに集合

常設展「三岸節子 絵画と求道」

日時 10月6日(土)〜1月14日(月) 午前9時〜午後5時

内容 三岸節子は絵画制作を通じて、人間性を高めようと苦闘しつづけました。生涯の作品とともにエッセイの一部を紹介し、その内面を探ります。

観覧料 一般 320円 高生 210円 小中生 110円

※11月25日までは特別展料金に含む

※市内小中生・65歳以上無料

せつこっこクラブ*12月

カラージューでクリスマス

内容 世界に一つのクリスマスカードを作りましょう。

日時 12月15日(土) 午後2時〜4時

対象 小学1年生〜中学生

申込み 「往復はがき」か「FAX」に必要事項を記入の上、開催日の10日前までに美術館へ。

※要参加費・定員有り

尾西歴史民俗資料館

☎(62)9711

特別展「御一新と宿場」

日時 10月6日(土)〜12月9日(日) 午前9時〜午後5時

内容 入館は午後4時30分まで、月曜休館、月曜日が休日の場合は翌日休館。

内容 あまり知られていない明治初期の宿場や、街道沿いに暮らす人々から見た「御一新(明治維新)」の内実に迫ります。

観覧料 無料

第12回もみじまつり

日時 11月24日(土)・25日(日)

午前10時〜午後4時 (お茶会は3時まで)

内容 旧林家住宅を会場にお茶会や山野草展、箏の演奏などを2日間にわたり催します。

入場料 無料(お茶会は300円)

尾西図書館

☎(62)8191

「読み聞かせ講習会」

日時 11月7日(水)〜12月5日(水)の毎週水曜日

午後1時30分〜3時30分

内容 絵本の読み聞かせの基礎を学びます

講師 図書館みのりの会会員

参加料 無料

定員 20名

一宮市民会館

☎(71)2021

思い出の日本レコード大賞コンサート

日時 10月8日(祝)午後3時〜 (開場は30分前)

出演 梓みちよ 桑江知子 中村

泰士 錦野旦 野村将希

入場料 5、000円

※全席指定・未就学児入場不可

お昼のコンサート60年代〜70年代のポップスコンサート

60年代のアメリカンポップス

『KEN&M-IHO (トムジョーンズ〜カーペンターズ)』

日時 11月8日(木)午前11時30分〜 (開場は30分前)

往年の名曲の数々をスインギーに歌う『ケン・バルディス 伊藤昌司トリオ(永遠のスタンダード〜フランクシナトラ)』

日時 12月13日(木)午前11時30分〜 (開場は30分前)

※全席自由・未就学児入場不可

※チケットレスの為、当日入場口にて入場料1、000円を支払います。

一宮市尾西市民会館

☎(62)8222

138いちみんライブシリーズ

『ふれあい無料コンサート』

『青の琴屋(胡弓・シンセサイザー)』

日時 10月6日(土) 午後1時〜

(開場は30分前)
※全席自由・入場無料

138 映画鑑賞会

平成24年度優秀映画鑑賞推進事業

山口百恵・三浦友和『伊豆の踊子』

日時 10月6日(土) 午後3時〜

(開場は30分前)

入場料 500円

※全席自由・未就学児入場不可



会場 一宮スポーツ文化センター

内容 自由吟および課題吟を一宮

川柳社委員が指導します。

(初心者歓迎)

参加料 無料

申込み 当日直接会場

『市民俳句教室』

【問合せ先 一宮市民俳句教室】

☎ (73) 5504

日時 9月23日(日)・11月25日(日)

12月16日(日) 午後1時〜

会場 一宮スポーツ文化センター

内容 当季雑詠3句を一宮市民俳

句教室委員が指導します。

(初心者歓迎)

参加料 無料

申込み 当日直接会場

『秋の市民俳句吟行会』

【問合せ先 一宮市民俳句教室】

☎ (73) 5504

日時 10月12日(金)午前9時〜

宮務務署西側に集合

行先 垂井町旧中山道宿場散策

(垂井町) 他

対象 なたでも

参加料 500円(昼食持参)

申込み 9月27日(木)までに事務局

へ連絡 ☎ (84) 0013

『市民短歌教室』

【問合せ先 真清短歌会】

☎ (62) 4654

日時 10月14日(日)・12月9日(日)

午後1時〜

会場 一宮スポーツ文化センター

内容 真清短歌会委員により実作

指導します。(初心者歓迎)

参加料 無料

申込み 当日直接会場

『狂俳月例会』

【問合せ先 一宮狂俳壇連盟】

☎ (51) 2286

日時 11月10日(土)・12月8日(土)

午後1時〜

会場 葉栗公民館

内容 各自10句持参、互選により

優秀作を記録に残します。

(初心者歓迎)

参加料 無料

『馬場獅子屋形打囃子保存会 秋祭』

【問合せ先 一宮民俗芸能連盟】

☎ (84) 0013

日時 10月21日(日)午後1時〜

会場 熱田社(千秋町加納馬場)

他

内容 道行打囃子を演奏しながら

獅子屋形を曳き回します。

『重吉甘酒祭保存会 甘酒祭』

【問合せ先 一宮民俗芸能連盟】

☎ (84) 0013

日時 10月28日(日)午後2時〜

会場 八幡神社(丹陽町重吉)

内容 神前に甘酒と強飯を供え、

お神楽を奉納します。甘酒

と強飯は参拝者に振るまわ

れます。

『第8回 あざみの会展』

【問合せ先 あざみの会】

☎ (78) 1069

日時 10月4日(木)〜7日(日)

10時〜17時(最終日は16時

まで)

会場 一宮スポーツ文化センター

内容 あざみの会の水彩・油彩の

展覧会です。

入場 無料



《県文化協会連合会の催し》

「第37回愛知県文連美術展」

会期 9月25日(火)～30日(日)

午前10時～午後6時(28日)
は午後8時まで 30日は午
後4時まで)

会場 愛知県美術館ギャラリー

入場料 500円(前売400円)

高校生以下無料

※生涯学習課で前売りしています。

「愛知県民茶会」

期日 10月21日(日)

午前10時～午後3時(予定)

会場 新城文化会館

新城市民体育館

茶券 前売券800円(2席)

当日券500円(1席)

「西尾張部芸能大会」

期日 12月2日(日)

式典 午後0時30分

開演 午後1時(予定)

会場 扶桑文化会館

入場料 無料

当協会出演団体 旭雅楽会

この『加入団体の催し』欄に情報を掲載しませんか？

このコーナーでは一宮市芸術文化協会加入団体のイベント情報を募集します。

発行月3・6・9・12月の前月1日までに、必要事項を任意の様式にて記入の上、事務局まで提出してください。

必要事項

①行事名 ②団体名 ③問合せ先電話番号 ④日時 ⑤会場 ⑥対象 ⑦参加料 ⑧申込方法
⑨その他必要事項

提出先

〒493-8511 一宮市芸術文化協会事務局(住所不要)
または FAX 0586-86-1809

第70回 一宮市美術展

開催要項

【会期】 11月15日(木)～18日(日)

午前9時30分～午後5時

(最終日は4時30分)

【会場】 一宮スポーツ文化センター

(一宮市真清田1-2-30)

【種目】 日本画/洋画/彫刻/立体

/工芸/デザイン/書/写真

【主催】 一宮市・一宮市教育委員会

【作品搬入】 11月10日(土)・11日(日)

午前9時30分～午後5時

【出品規定】 1種目につき1人1点

とし、他の公募展・コンクール

に未発表の作品に限る。中学校

卒業以上の年齢の者で、市内市

外は問わない。

【出品料】 無料

【規格】

【日本画】 20号以上100号以内で

額入り。ヒートン及び吊ひも(又

は針金)を取り付けておくこと。

【洋画】 20号以上150号以内で額

入り。版画は4号以上で額入り。

ヒートン及び吊ひも(又は針金)

を取り付けておくこと。

【彫刻・立体】 制限なし(安定して

展示できる作品)。

【工芸】 制限なし。壁面展示の作品

にはヒートン及び吊ひも(又は針金)を取り付けておくこと。

【デザイン】 A2サイズ以上でパネル張り。小型は、パネルに構成

ポスターフレーム可。(ポスター

・イラスト・CG等表現自由)

ヒートン及び吊ひも(又は針金)

を取り付けておくこと。

【書】 仕上がり寸法は91cm×91cm

(3尺×3尺)又は半切以上

176cm×48cm以下。縦横自由

枠張り又は額装。篆刻は二印以

内で印影のみとし、縦39cm×横

30cmとする。刻字は1㎡以内と

する。規定の用紙に墨書(パン

コン可)による釈文を添付する

こと。

【写真】 全紙以上でパネル張り。(木

製パネルに限る)額不可。ただ

し、組写真は半切以上2枚以内。

(作品裏面で固定すること)

【作品搬出】

11月18日(日)午後5時～7時

(予備日) 11月20日(火)午前9時30

分～11時30分

【問い合わせ先】 一宮市教育委員会

生涯学習課

生涯学習・文化グループ

☎ (84) 0013

平成24年度

文化講演会

演
題

「宮沢賢治から学ぶ
21世紀の教育」



数学者

あきやま

秋山

じん

仁

さん

とき

10月20日土

13:00～14:30 (開場は30分前)

ところ

一宮市尾西市民会館

◆会場アクセス◆※駐車場には限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。

一宮市循環バス(i-バス)尾西北コース23番、尾西南コース26番「尾西庁舎」下車徒歩1分、もしくは、名鉄バス「一宮市役所尾西庁舎」下車徒歩1分(名鉄一宮駅バスターミナル2番のりばで「起」西中野「運池」行きに乗り約10分)

入場無料

※整理券が必要です。
※当日は、手話通訳があります。

◆整理券◆入場無料ですが、整理券が必要です。(満席の場合は、入場をお断りすることがあります。)整理券は9月19日(水)より一宮庁舎西玄関受付、尾西生涯学習センター(尾西庁舎)、尾西南部生涯学習センター、木曾川庁舎生涯学習課、各出張所、豊島・玉堂記念木曾川図書館、一宮・尾西市民会館、一宮スポーツ文化センターで配布します。

当日、ロビーにて「いちのみや文芸2012」
(1冊800円)を販売します。

■お問い合わせ先■一宮市芸術文化協会事務局(市生涯学習課内) 電話 0586-84-0013(直通)

主催/一宮市教育委員会・一宮市芸術文化協会

[題 字] 武 山 翠 屋
[編集・発行] 一宮市芸術文化協会

[連絡先] 一宮市芸術文化協会事務局(市教育委員会生涯学習課内)
〒493-8511 愛知県一宮市木曾川町内割田一の通り27番地
TEL 0586-84-0013 / FAX 0586-86-1809